

私たちの日常生活や事業活動などで排出される温室効果ガスが増加し続けることで、猛暑やゲリラ豪雨など、さらなる自然災害のリスクが高まることが危惧されています。1人ひとりが二酸化炭素の排出量削減を意識して、共に未来の環境を守りましょう。 **関市生活環境課 ☎ 0994-31-1115**



Zero Carbon City Kanoya

# 私たちにもできる カーボンニュートラル

難しく考えずに、1人ひとりが取り組めることから二酸化炭素の削減に努めましょう



## カーボンニュートラルとは!?

温室効果ガスの実質的な排出量がゼロとなった状態をカーボンニュートラルといい、日本を含む120以上の国や地域が2050年までのカーボンニュートラル実現を目指しています。本市も今年2月に「ゼロカーボンシティかのや」宣言を行いました。



- 1 2 北田商店街で取り組むグリーンカーテンや太陽光パネル
- 3 北田町から笠之原周辺までは自転車で現場に向かう井之上さん。日頃から脱炭素につながる行動を実践

## 普段の暮らし方を見直すことも カーボンニュートラルにつながります

鹿屋市でも平均気温が35℃以上となる猛暑日の割合が近年増えていきます。最近のエアコンは部屋の広さに対して大きい畳数タイプのもので「除湿運転」で使うと省エネに効果的です。冷蔵庫も大容量で省エネタイプが増えており、冷蔵・冷凍共に5~7割程度の収納が最も省エネに効果的だと言われています。身近な電化製品の選び方・使い方の見直しもカーボンニュートラルにつながるのではないのでしょうか。



鹿児島県電機商業組合  
鹿屋支部長  
井之上 宏幸 さん

## 鹿屋市と連携して脱炭素社会の実現を

脱炭素社会の実現に向けた取り組みは、弊社の使命であることから「オール電化住宅の推進」などに挑戦しているところです。今後も九電グループの技術・ノウハウを活用しながら、鹿屋市におけるカーボンニュートラルの加速化に貢献してまいります。



九州電力㈱鹿屋営業所  
法人営業グループ長  
はたなか ただし  
畑中 正 さん



◀ 6月3日に本市と九州電力(株)鹿屋支店が連携協定を締結

## 地元の川を大切にする気持ちを育てて カーボンニュートラルにも貢献

肝属川の環境を維持・改善するために「藻とる作戦」と題して毎年夏に川をきれいにする取り組みを子どもたちと9年続けています。主に他の植物の光合成を阻害するオオカナダモの駆除を行い、処分の方法もチップにして農畜産業で活用するなど二酸化炭素が排出されないように工夫しています。



プロジェクト  
FMかのや カワイイ project Ⅱ  
「藻とる作戦!」  
なかむら  
中村 なおみ さん